

# 「パラリンピック聖火採火式」



荒川区少年団体指導者連絡会 会長 田中 義久

私たち荒川区少年団体指導者連絡会（以下、荒少連）には、区内の子どもが携わる団体が加盟しており、その団体の代表者の方や活動を賛同して頂ける方などが集まり組織しています。令和3年8月20日、荒川総合スポーツセンターにて、東京2020パラリンピック聖火採火式が行われ、たくさんの応援を受けながら、南千協和子ども会の子ども4名と荒少連メンバーで参加しました。



火起こしに挑戦

聖火の点火は、「まいぎり式」という方法で行いました。板の上に棒を立て、ひもを棒にまきつけ、はずみ板を上下にうごかして、棒と板の摩擦で熱を伝え火種が生まれます。その火種を燃えやすい木くすなどに移して空気を入れると、火が着く、という方法です。



ランタンに移された火

参加者は一心不乱に頑張っていました。数十分後、火種が着き、空気を入れ、無事に火がつきました。ランタンに納火された炎は、各市区町村で採火された炎とともに東京2020パラリンピック聖火となりました。

参加者一人一人の心に残る貴重な経験となりました。

## クイズ・アンケート

クイズとアンケート両方にお答えください。正解者の中から30名の方に「あらかわの心」オリジナルノートをプレゼント致します。郵送かメールでご応募ください。

**● 郵送の場合**  
はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケート①②③をご記入の上、下記までお送りください。  
〒116-8501  
東京都荒川区荒川2-2-3  
荒川区子ども家庭部児童青少年課内  
あらかわの心ニュース  
「クイズ・アンケート」係

**● メールの場合**  
メールの件名を下記のようにして、  
1. 住所 2. 氏名 3. 電話番号

4. クイズの答え 5. アンケート①②③をご記入の上、下記までお送りください。

メール件名 あらかわの心  
「クイズ・アンケート」係  
Eメール arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

**● 締め切り**  
令和4年6月15日。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
なお、いただいたご意見等は、ニュース等の広報誌で紹介させていただきます。

**クイズ**  
〇〇〇の中に入る言葉は何でしょう？  
「あらかわの心」推進運動は「あいさつ、〇〇〇、思いやり、体験、見守

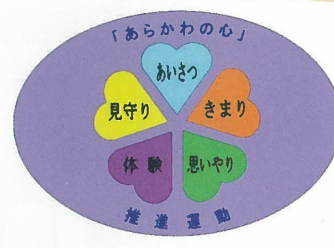
り」というく心をつなぐ5つの取り組み>を実践しています。

**アンケート**  
①このニュースはどこで手に入れましたか。  
②もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。  
③その他、ご意見・ご感想等がありましたら、お願いします。



オリジナルノート

# 「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

今号では、参加団体の活動報告を中心にお届けします。困難な状況が続いていますが、どの団体も感染症対策を徹底しながら活動している様子をお伝えします。



あらいみ あら坊

第32号

令和4年  
3月1日発行

## 電子ちょうちん製作体験

荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会

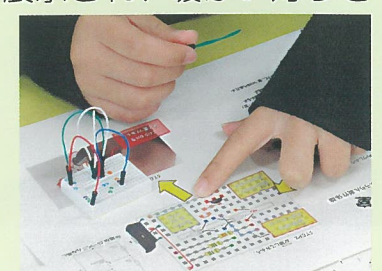
令和3年12月19日、都立荒川工業高等学校の協力により「電子ちょうちん製作体験」を実施しました。

子どもたちは、同校の先生や生徒の皆さんのサポートを受けながら、半紙にイラストや文字を書き入れ、ちょうちんの骨組みとなるアルミ骨に丁寧に貼り付けました。電子回路の製作では、真剣な眼差しでLEDやトランジスタを慎重に配置していきました。電子回路をちょうちんに組み込み、点灯を確かめると、教室のあちこちから「点いた！」「出来た！」と喜びの声が聞こえてきました。

子どもたちが製作したちょうちんは、同校エントランスに展示され、暖かい灯りをともしてくれました。今回の体験を機に、身の回りの電子機器の仕組みに興味を持ってほしいです。



製作中の様子



慎重に組み込み



展示されたちょうちん





## 社明標語入選者表彰式

“社会を明るくする運動” 日暮里地区推進委員会  
櫻井 ちかゑ

今年度も“社会を明るくする運動”の一環として、「社明標語」の募集が行われました。各学校の協力を得て、小学生1,445名、中学生436名の応募があり、各学校から10作品ずつ計60作品の入選作が選ばれました。この中から、一席から佳作までの10作品が選ばれました。

なお、例年、表彰式は社明パレード出発式の中で行われていましたが、今年度はパレードが中止となったため、学校ごとに行われました。

どの作品も子どもらしい味わいのある作品が多く、甲乙つけ難いものばかりでしたが、子どもたちは“社会を明るくする運動”の意義を、それぞれ自分なりに考え、言葉にしていたのでしょう。選考の結果、一席は第三日暮里小学校一年生の作品に決まりました。

社明標語は「あらかわの心」にも通じる作品が数多くあり、毎年このような時間を持つことにより、“社会を明るくする運動”への理解が深まり、人を思いやる心が育っていくことを願っています。



## 南千住の明るいパレード

“社会を明るくする運動” 南千住地区推進委員会  
パレード運営委員長 岡野 正隆

令和3年12月5日、第71回“社会を明るくする運動”南千住地区街頭パレードが開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、今回は各団体からの参加人数を5名以内とし、感染予防に努めながら行いました。

開会式は、天王太鼓つくも会による力強い演奏で始まりました。“社会を明るくする運動”南千住地区推進委員会会長の越村氏の挨拶があり、来賓としてお越しいただいた西川荒川区長、荒井南千住警察署長のご挨拶を頂戴いたしました。

パレードは、第一中学校、第三中学校、南千住第二中学校のそれぞれの吹奏楽部、そして伝統ある第三瑞光小学校の鼓笛隊、第六瑞光小学校の金管バンドの参加により、華やかになりました。沿道からも温かい拍手をたくさんいただきました。

交通警備でお世話になった各団体の皆さま、南千



パレードの様子

住警察署の50名を超える署員の皆さまのご協力に感謝申し上げます。



## 六瑞もちつき大会

六瑞パパの会メンバー  
箕輪 佳能

令和3年11月13日土曜授業の合間に、校長先生、先生方、PTAの皆様のおかげで、もちつき大会を開催することが出来ました。今年度も新型コロナウイルスの影響であらゆる行事が中止されるなか、『子どもたちの笑顔がみたい!』そんな皆様の思いに、六瑞パパの会もお手伝いをさせていただきました。密をさけるため、学年ごとに時間をずらすことになりましたが、全校生徒、先生方、保護者の皆様、みんなでもちをついて、みんなでもちを丸めて、本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。みんなで丸めたもちは鏡もちにして各家庭に持ち帰りました。

ちなみに、今年度も六瑞パパの会主催の花火大会は、盛大に開催されました。子どもたちだけでなく、保護者の皆様にも喜んでもらい、大変うれしく思います。近隣の方々にはご迷惑をお掛けしておりますが、いつも寛大な心で見守っていただき有難うございます。六瑞パパの会はこれからも子どもたちの笑



みんなでもちつき

顔のために頑張ってまいります。



## 尾久地区「中学生の主張」発表会

青少年育成尾久地区委員会  
副会長 初見 昇

令和3年10月9日、青少年育成尾久地区委員会主催「第39回中学生の主張」を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中の8月から開催方法を検討し、関井会長の熱い思いと原中学校水井校長先生のご提案で、尾久地域の中学校4校と区役所、尾久警察署を繋ぐリモート形式で伝承の道を拓くこととなり、代表の中学生9名が発表しました。

「地を離れて人なく、人を離れて事なし」の名言を規範に、子どもたちの健やかな成長への願いとともに、人情味厚い風土と熱い郷土愛で包まれ、リモートでの開催ながら、人との距離は温もりのあるものとなりました。

学び舎で育んだ力で現実を見据えた内容は、グローバルな広がり感性が豊かに表現され、そのどれもが将来が楽しみで頼もしく感じられ、時代のわずかな変化をも感じ取る中学生の考えを知る機会となりました。また、夜間学級生の学が喜びと楽しさが心に響きました。

ご祝辞を頂いた西川荒川区長、谷口尾久警察署長、高梨教育長と各学校の諸先生のご協力、そして区民生活部のご尽力に感謝申し上げます。



当日の様子

## PTAの引き継ぎができない?

荒川区立第一中学校PTA  
会長 阿川 道仁

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者が参加できる行事があまりありませんでしたが、昨年度よりはよくなったと思います。

5月に行われた運動会は、昨年は保護者の観覧は禁止でしたが、今年は1家族1名に限り観覧することができました(交代OK)。規模は縮小されましたが、久しぶりに沢山の子どもたちの元気な姿を見ることができました。

12月は社明パレードに参加しました。一中生もブラスバンド部で地域の皆様に演奏をお届けすることができました。自分たちのため(でもありますが)ではなく、地域のための活動というのは勉強になることも多いと思います。

一方、できなかった行事も多く、PTAはこれまでのノウハウが引き継げないまま、世代交代となってしまうことも多くなっています。これは他の学校でも同じだと思います。

しかし、これをチャンスと考え、これまでのやり方にとらわれないやり方を築いていけたらと思います。



社明パレードに参加



## 荒川区小学校PTA連合会 (荒小P連)について

荒川区小学校PTA連合会  
会長 光永 太郎

荒小P連とは、荒川区小学校24校のPTA会長が集まり、学校の垣根を越えて、子どもたちのために議論や情報を共有する会です。

先日も第二回会長会が行われ、各学校の取り組みや悩み事などをみんなで話し合いました。自校だけでなく、24校で共有することで色々なヒントやアイデアが生まれ大変有意義な会となりました。

現在取り組んでいるのは、コロナ禍で学校行事やイベントなどが減るなかでも、子どもたちに元気をプレゼントするための方法や、成功事例の共有をしています。その他、学校や教諭との付き合い方・トラブル時の対応など議論はつきません。



会長会の様子

また、昔と違いほとんどのご家庭が今は共働きです。今回のコロナ禍の環境は私たちのPTA活動の仕方も大きく変えました。今の時代にあったPTA活動にするため、これからも仲間たちと連携し、子どもたちのために保護者と一緒に頑張っていきます。